

かまで稲刈り よいしょ



稲刈りを体験する園児ら - 24日、福井市種池町

園児46人 農家に習い体験

みんなで……
読もう

福井市の社中央第一こども園(測1丁目)、第二こども園(運動公園1丁目)の年長児46人が24日、同市種池町の田んぼで稲刈りとはさ掛けを体験した。園児らはぬかるむ土の上を踏ん張り、鎌を上手に使って稲刈りを楽しんだ。

日本の主食であるお米の育て方を学んでもらおうと農家から田んぼを借り、年間を通じた稲作体験を毎

年行っている。

園児は60〜70センチに育ち、黄金色に実った稲穂を、農家の「手前にぐっと引いたら切れるよ」とのアドバイスを受けながら、懸命に刈り取っていた。その後、農家が束ねた稲を、はさ場に掛けていった。

桑野結翔ちゃん(6)は「力強く引っ張ったらうまくできた。食べるのが楽しい」と話した。刈り取った稲は9月中旬ごろに脱穀しておにぎりにして食べる。

(横畑俊介)